

「多民族・多宗教社会における不寛容の位相と融和」研究会

フランスにおける社会的不満と抵抗 —黄色いベスト運動から郊外「暴動」まで

マクロン政権下のフランスでは、2018年の黄色いベスト運動、2019年以降の年金制度改革への抗議運動と2023年3月の大規模ストライキ、2023年6月の郊外での「暴動」とさまざまな社会的不満が噴出している。本報告では、こうした不満がどのような社会層に存在し、どのような形態の抵抗がなされているのか、そしてそれらに通底するものは何かを考察する。

2023年9月29日(金)

16:00~17:30

ZOOMによるオンライン研究会

■ **報告者** **村上一基氏** **東洋大学 准教授**

■ **司会** **布川 あゆみ氏** **東京外国語大学 准教授**

本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

